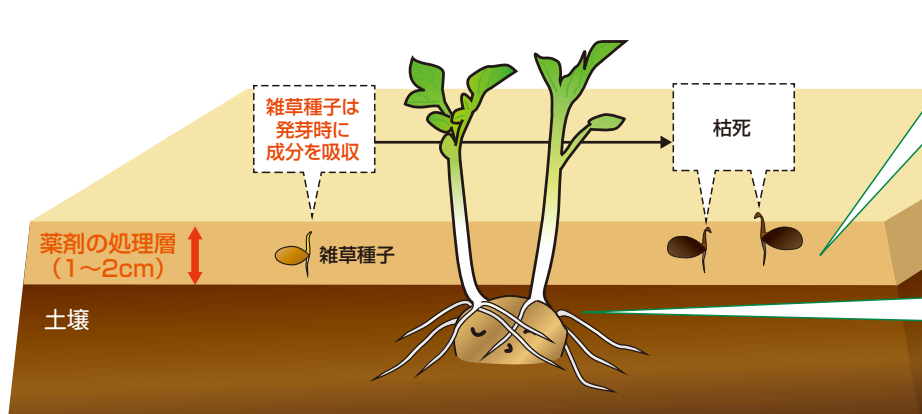


# ゴーゴーサン乳剤・細粒剤 ばれいしょでの上手な使い方



## ① ゴーゴーサンの雑草の枯らし方



土壌処理除草剤のゴーゴーサンを散布すると、地表から1~2cmのところに薬剤処理層が形成されます。処理層にある雑草種子は、発芽すると根や茎葉基部から有効成分を吸収し、生長できなくなり、枯死に至ります。

作物は処理層より下に播種し発芽するので、薬剤の影響は少なくなります。また、ゴーゴーサンは土壌中の移行性が少なく、作物には安全です。

## ② 十分な除草効果を得るために

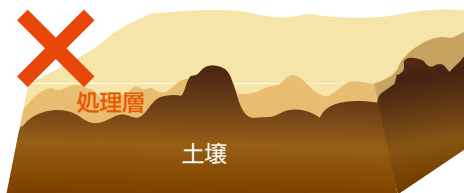
### ■ 碎土、整地はていねいに行ってください

耕起や整地が十分に行われると



薬剤処理層が均一に形成され、安定した除草効果が期待できます。

耕起や整地が不十分な場合は



土塊の下部や側面に適切な処理層が形成されず、雑草が生長してしまいます。

### ■ 土壌水分にご注意ください

#### ● 乾燥に注意!

土壌が極端に乾燥していると、処理層の形成が不十分となり、効果が低減します。

#### ● 過湿に注意!

水分過多、排水不良、水たまりがある状態での使用は、効果低減や薬害発生の原因になります。

#### ● 適湿の目安

土壌を手のひらで軽く握ると土壌塊ができ、また簡単に崩せるような状態が適湿です。

※ 土壌を握り、指の間から水滴がしたたる時は、過湿状態です。ご注意ください。

※ 処理後に激しい降雨が予想される時には、使用を避けてください。



畑作用除草剤

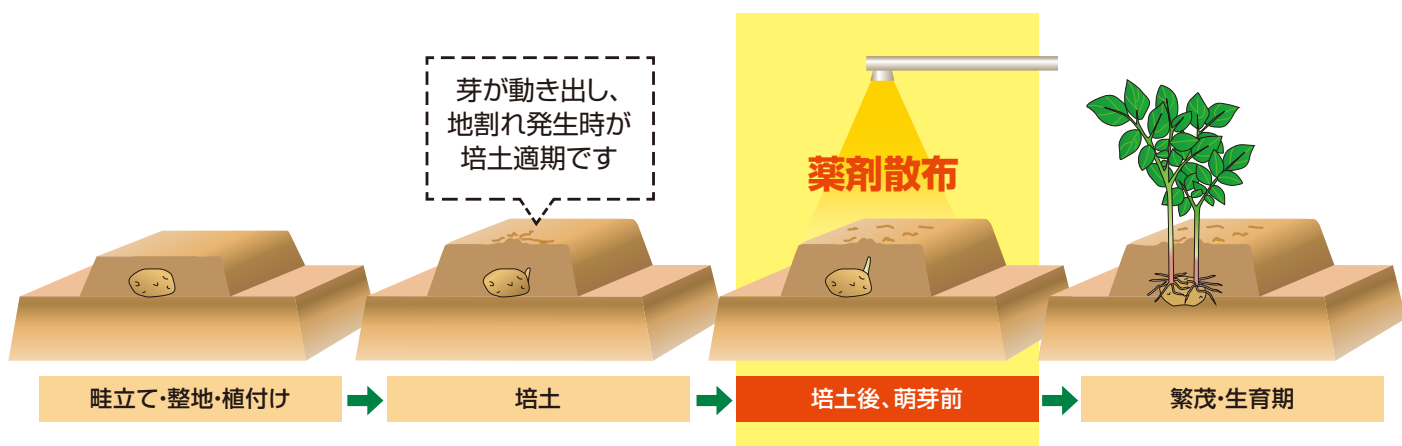
# ゴーゴーサン<sup>®</sup> 乳剤 細粒剤F

©=BASF社の登録商標

**BASF**

We create chemistry

### ③ ゴーゴーサンの散布時期の目安



- ばれいしょの植付け後、芽が動き出し、圃場表面に地割れが見え始めた頃に培土・土寄せをしてください。
- 培土・土寄せ後に、速やかにゴーゴーサンを散布してください。散布はばれいしょの萌芽前、雑草発生前に行ってください。
- 培土後萌芽前(登録範囲内)の処理により、生育期後半までの効果が期待できます。

### ④ 殺草スペクトラム

ゴーゴーサンは一年生雑草に高い効果がありますが、キク科やツユクサへの効果は劣ります。また、ハマスゲ、スズメノヒエ、ヨモギなどの多年生雑草への効果はありません。

雑草名	効果	雑草名	効果	雑草名	効果
イヌビエ(ノビエ)	◎	シロザ	◎	スカシタゴボウ	△
メヒシバ	◎	イヌホオズキ	◎	ハキダメギク	△
エノコログサ	◎	イヌビユ	◎	ハルジオン	○
スズメノカタビラ	◎	ホトケノザ	◎	ノボロギク	△
カヤツリグサ	◎	ヤエムグラ	△	イチビ	○～△*
オオイヌタデ	◎	エノキグサ	×	カラスノエンドウ	△
スベリヒユ	◎	ナズナ	◎	ツユクサ	×

効果凡例 ◎:極大 ○:大 △:中 ×:劣る  
\*イチビ:発生深度により効果差が生じます。

### ゴーゴーサン乳剤

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量				
ばれいしょ	一年生雑草	植付後萌芽前(雑草発生前)	全土壌	200~300 mℓ/10a	70~100 ℓ/10a	1回	全面土壌 散布	全域	1回

### ゴーゴーサン細粒剤F

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ペンディメタリンを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ (マルチ栽培を除く)	一年生雑草	植付後萌芽前 (雑草発生前)	砂壤土 ~ 埴土	4~6kg /10a	1回	全面土壌 散布	全域 (北海道を除く)	1回
ばれいしょ (マルチ栽培)		植付後マルチ前、但し、 萌芽前まで(雑草発生前)						

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料の記載内容は2016年2月現在の登録内容に基づいています。

## BASFジャパン株式会社

〒106-6121 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー21階  
☎0120-014-660 FAX 03-3796-9419  
http://www.agriculture.japan.basf.com

取扱い